

Ⅱ 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置について	項目評価	A	評点	4.0
---	------	---	----	-----

コメント	<p>復興支援業務については、被災企業・団体等への支援業務、とりわけ巡回支援において、目標値を大幅に超過達成し、またパッケージを含めた商品開発からテストマーケティングまで連続性のある支援を行い、具体的な成果があった点を高く評価する。ニーズの声が届かない被災企業もあると思われるので復興に向けて引き続きの取組を期待する。</p> <p>技術相談については、新規企業への訪問件数が目標の倍以上であるほか、顧客満足度、相談解決度、技術相談件数の高さは評価できる。また、外部人材の積極活用や対応しきれない専門分野は他を紹介するなど、相談者に寄り添った対応姿勢に事務的でない温かさがあり、県の多くの施設の規範となると思われる。できればもう少し顧客満足度調査のアンケート回収率を高められると良い。</p> <p>依頼試験等については、分析方法等のマニュアル化や職員の複数対応化により利用促進を図るなどして、目標値を大幅に超過達成しており、評価できる。</p> <p>機器貸出については、設備、機器等の導入を進め、また、講習会等を開催して利用促進に努めた結果、目標値を大幅に超過達成、顧客満足度も高い水準を維持しており評価できる。今後は、目標水準の見直しも検討されたい。</p> <p>県等公共団体からの受託研究については、県政課題の解決に貢献する研究を着実に進めており、ILC関連産業に係る取組など、今後の成果が期待される。三次元積層造形技術は各所で取り組まれており、商品化まで視野に入れた目標を立てることが肝要。</p> <p>競争的外部資金を活用した研究については、復興支援予算に伴う研究テーマの終了により獲得資金が大幅に減少したものの、競争的外部資金の獲得に向けた目標値を達成した。</p> <p>新規共同・受託件数は目標を達成できなかったが、顧客満足度は高い。今後、対象範囲の拡大とともに、企業等との共同研究・受託研究が進展することを期待する。</p> <p>自主財源研究については、活発にバランスよくシーズ研究が実施されている点は評価できる。競争的外部資金研究や共同研究への発展を期待する。</p> <p>研究成果の事業化支援については、目標値を達成しているが、具体的な支援内容についてより一層のPRを期待する。</p> <p>受講者アンケートでは、大半が満足と回答する中、「普通・どちらかといえば不満」との回答もあるため、企業のニーズを汲んだ講習の実施に、今後も努力されたい。</p> <p>特許実施許諾、特許流通等については、中小企業等に対する特許等共同出願の提案制度新設などにより、今年は目標を達成しましたが、中期計画に基づく目標達成も引き続き視野に入れて取り組まれたい。</p> <p>技術者受入型開発支援については、目標を上回る受け入れ件数で顧客満足度が100%、企業技術者のプレゼン能力の向上など人材育成に積極的に貢献している。今後も、企業が必要としている技術分野に係る支援の重点化を期待する。</p> <p>研修生受入等については、児童・生徒・学生によるインターンシップを多く受け入れており、地域の教育へも貢献している。未来を担う中高生のキャリア支援に向けて、より積極的な働きかけを望む。</p> <p>限られた職員で多くの講師・審査員を派遣したことは評価できる。専門性を活かし、引き続き可能な限り対応するよう期待する。</p> <p>情報の発信については、小中高生、大学生などの未来を担う世代への情報発信を更に充実させるなど、広く一般県民にも理解されるよう県民目線に立った分かりやすい広報活動を行って欲しい。</p> <p>情報の公開については、引き続き県民に信頼される取組を期待する。</p>
------	--

小項目	評価	評点	コメント
復興支援業務	AA	4.7	被災企業・団体等への支援業務、とりわけ巡回支援において、目標値を大幅に超過達成し、またパッケージを含めた商品開発からテストマーケティングまで連続性のある支援を行い、具体的な成果があった点を高く評価する。ニーズの声が届かない被災企業もあると思われるので復興に向けて引き続きの取組を期待する。
技術相談	A	4.5	新規企業への訪問件数が目標の倍以上であるほか、顧客満足度、相談解決度、技術相談件数の高さは評価できる。また、外部人材の積極活用や対応しきれない専門分野は他を紹介するなど、相談者に寄り添った対応姿勢に事務的でない温かさがあり、県の多くの施設の規範となると思われる。できればもう少し顧客満足度調査のアンケート回収率を高められると良い。
依頼試験等	A	4.3	分析方法等のマニュアル化や複数対応化により利用促進を図るなどして、目標値を大幅に超過達成しており、評価できる。
機器貸出	A	4.5	設備、機器等の導入を進め、また、講習会等を開催して利用促進に努めた結果、目標値を大幅に超過達成、顧客満足度も高い水準を維持しており評価できる。今後は、目標水準の見直しも検討されたい。
県等公共団体からの受託研究	A	4.0	県政課題の解決に貢献する研究を着実に進めており、国際リニアコライダー関連産業に係る取組など、今後の成果が期待される。三次元積層造形技術は各所で取り組まれており、商品化まで視野に入れた目標を立てることが肝要。
競争的外部資金を活用した研究	A	4.0	復興支援予算に伴う研究テーマの終了により獲得資金が大幅に減少したものの、競争的外部資金の獲得に向けた目標値を達成した。
企業等との共同研究・受託研究	B	4.3	新規共同・受託件数は目標を達成できなかったが、顧客満足度は高い。今後、対象範囲の拡大とともに、企業等との共同研究・受託研究が進展することを期待する。
自主財源研究	A	4.3	活発にバランスよくシーズ研究が実施されている点は評価できる。競争的外部資金研究や共同研究への発展を期待する。
研究成果の事業化支援	A	4.0	目標値を達成しているが、具体的な支援内容についてより一層のPRを期待する。
講習会等開催	A	4.0	受講者アンケートでは、大半が満足と回答する中、「普通・どちらかといえば不満」との回答もあるため、企業のニーズを汲んだ講習の実施に、今後も努力されたい。
特許実施許諾、特許流通等	A	4.0	中小企業等に対する特許等共同出願の提案制度新設などにより、今年目標を達成したが、中期計画に基づく目標達成も引き続き視野に入れて取り組まれたい。
技術者受入型開発支援	A	4.3	目標を上回る受け入れ件数で顧客満足度が100%、企業技術者のプレゼン能力の向上など人材育成に積極的に貢献している。今後も、企業が必要としている技術分野に係る支援の重点化を期待する。
研修生受入等	A	4.2	児童・生徒・学生によるインターンシップを多く受け入れており、地域の教育へも貢献している。未来を担う中高生のキャリア支援に向けて、より積極的な働きかけを望む。
講師・審査員等派遣	A	4.0	限られた職員で多くの講師・審査員を派遣したことは評価できる。専門性を活かし、引き続き可能な限り対応するよう期待する。

情報の発信	A	4.0	小中高生、大学生などの未来を担う世代への情報発信を更に充実させるなど、広く一般県民にも理解されるよう県民目線に立った分かりやすい広報活動を行って欲しい。
情報の公開	A	4.0	引き続き県民に信頼される取組を期待する。

Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するために取るべき措置について		項目評価	A	評点	4.1
コメント	<p>組織体制の見直しや改善に取り組み、次年度における組織再編に結びつけている。今後も自主的な検討を不断に行うことを期待する。</p> <p>事務等の効率化・合理化については、超過勤務対応の努力により縮減が図られたが、今後のより一層の縮減を期待する。</p> <p>職員のモチベーション向上については、セクハラ・パワハラの相談担当者の設置等、職場環境の改善に努めている。女性休養室兼託児ルームの設置は評価できるが、育児や介護などの事情を抱える男性職員へのフォローも期待する。</p> <p>職員の能力開発については、全体として十分行われている。</p> <p>環境マネジメントについては、環境負荷の低減努力を継続しており、常に意識向上をはかって進められたい。</p> <p>労働災害防止研修や交通安全研修を継続して実施しており、労働災害・交通事故0、健康診断受診率100%は高く評価できる。</p> <p>コンプライアンスの強化及び社会貢献活動の実施については、物品の適正管理体制を強化するとともに、情報セキュリティやコンプライアンス意識の醸成に努めている。また、児童・生徒・学生によるインターンシップを多く受け入れており評価できる。</p>				

小項目	評価	評点	コメント
組織運営の改善	A	4.0	組織体制の見直しや改善に取り組み、次年度における組織再編に結びつけている。今後も自主的な検討を不断に行うことを期待する。
事務等の効率化・合理化	A	4.0	超過勤務対応の努力により縮減が図られたが、今後のより一層の縮減を期待する。
職員のモチベーション向上	A	4.0	セクハラ・パワハラの相談担当者の設置等、職場環境の改善に努めている。女性休養室兼託児ルームの設置は評価できるが、育児や介護などの事情を抱える男性職員へのフォローも期待する。
職員の能力開発	A	4.0	全体として十分行われている。
環境マネジメント	A	4.0	環境負荷の低減努力を継続しており、常に意識向上をはかって進められたい。
安全衛生マネジメント	AA	4.7	労働災害防止研修や交通安全研修を継続して実施しており、労働災害・交通事故0、健康診断受診率100%は高く評価できる。
コンプライアンスの強化及び社会貢献活動の実施	A	4.30	物品の適正管理体制を強化するとともに、情報セキュリティやコンプライアンス意識の醸成に努めている。また、児童・生徒・学生によるインターンシップを多く受け入れており評価できる。

IV 財務内容の改善に関する事項	項目評価	A	評点	4.00
------------------	------	---	----	------

コメント	<p>競争的研究資金獲得金額が震災前と比較して大幅に減少しているが、自己収入は目標を上回っている。</p> <p>経費の抑制については、光熱水費等の削減や超過勤務の管理徹底など努力している。今後も、常に意識向上をはかって進めていただきたい。</p> <p>事業の効率化については、業務経費も一般管理費も継続した効率化の努力を評価する。</p>
------	---

小項目	評価	評点	コメント
競争的外部資金その他の自己収入の確保	A	4.0	競争的研究資金獲得金額が震災前と比較して大幅に減少しているが、自己収入は目標を上回っている。
経費の抑制	A	4.2	光熱水費等の削減や超過勤務の管理徹底など努力している。今後も、常に意識向上をはかって進めていただきたい。
事業の効率化	A	4.0	業務経費も一般管理費も継続した効率化の努力を評価する。

VIII その他業務運営に関する重要事項	項目評価	A	評点	4.00
----------------------	------	---	----	------

コメント	<p>計画的に施設設備の導入及び更新が行われている。</p> <p>外部人材の活用により、効果的かつ効率的な人的資源の配分と専門知識・技術や経験の円滑な継承を図っている。</p>
------	---

小項目	評価	評点	コメント
施設・設備の整備に関する計画	A	4.0	計画的に施設設備の導入及び更新が行われている。
人事に関する計画	A	4.00	外部人材の活用により、効果的かつ効率的な人的資源の配分と専門知識・技術や経験の円滑な継承を図っている。

■総合評価

加重比率

各項目の評価	Ⅱ 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置について	項目評価	A	評点	4	57%
	Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するために取るべき措置について	項目評価	A	評点	4	25%
	Ⅳ 財務内容の改善に関する事項	項目評価	A	評点	4	11%
	Ⅷ その他業務運営に関する重要事項	項目評価	A	評点	4	7%
		総合評価	A	評点	4.00	—

■総合評価コメント

コメント	<p>最重要課題に位置づけられている復興支援を、ニーズを的確に把握する努力を重ねながら、丁寧に精力的に取り組んでいるほか、基幹業務の基本サービス分野の取組にも目覚ましい成果がある。</p> <p>また、研究者が安心して研究できる環境の整備やモチベーションアップも図られているほか、児童・生徒・学生によるインターンシップを多く受け入れるなど、地域の教育にも大きく貢献している。</p> <p>全体的に目標を達成していると評価するとともに、第2期中期目標、中期計画の達成に向けても、着実に業務を進めていると判断する。</p>
------	--